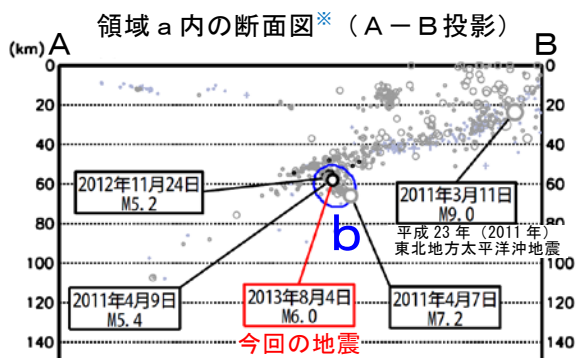
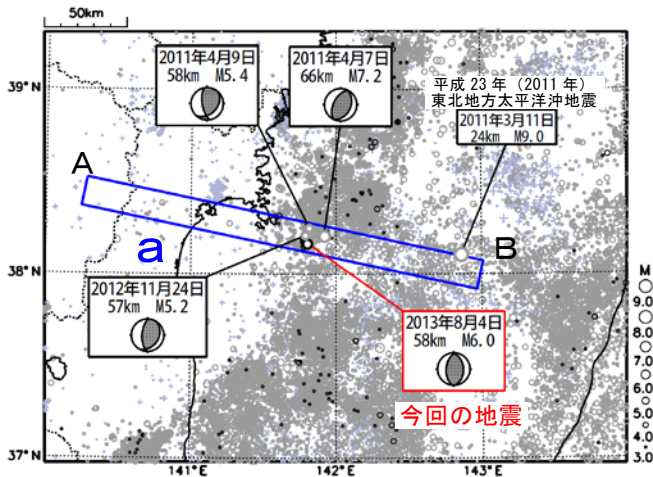


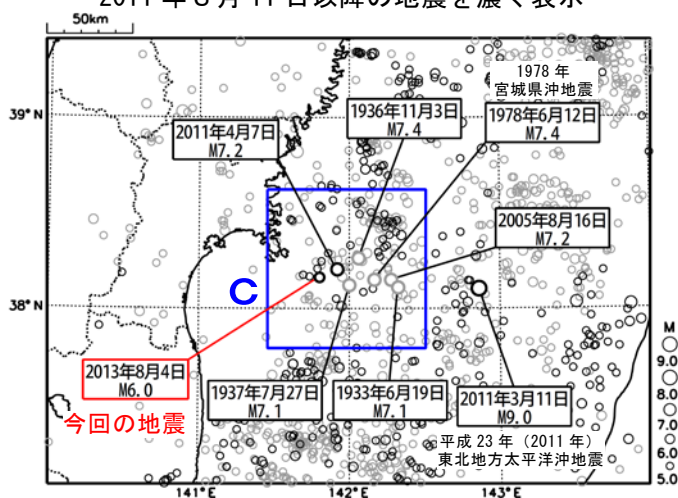
# 8月4日 宮城県沖の地震

震央分布図※  
(1997年10月1日～2013年8月31日、  
深さ0～150km、M≥3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、2013年8月の地震を濃い○で表示  
図中の発震機構はCMT解



震央分布図  
(1923年1月1日～2013年8月31日、  
深さ0～150km、M≥5.0)  
2011年3月11日以降の地震を濃く表示

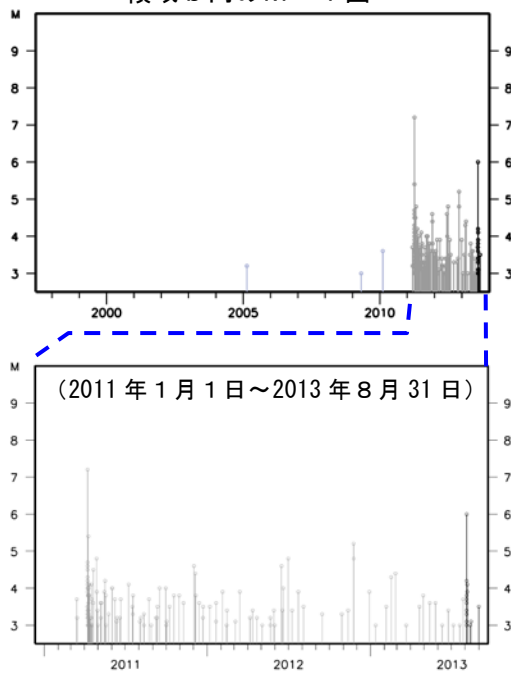


※2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

2013年8月4日 12時28分に宮城県沖の深さ58kmでM6.0の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は太平洋プレートの内部で発生したもので、発震機構(CMT解)は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、負傷者4人の被害が生じた(総務省消防庁による)。今回の地震の震源付近(領域b)では、2011年4月7日にM7.2の地震(最大震度6強)が発生しており、今回の地震は、この地震の余震域内で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、領域bでは、2011年4月7日のM7.2の地震発生後、地震活動が活発になった。その後は徐々に低下しているものの、依然継続している。

領域b内のM-T図※



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)が発生するなどM6.0以上の地震がしばしば発生している。

領域c内のM-T図

